



ロータリー：
変化をもたらす

RI イアン・ライズリー会長テーマ

Weekly 2017-'18 Report

15
2017/11/15

クラブ会長テーマ 奉仕を通じて、みんなが輝こう！



世界に奉仕するロータリー 堂々の行進



RI 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会長 小澤 谷守

幹事 寺澤 武

例会日：毎週水曜日

例会場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事務所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB: <http://kunitachi-rc.com/>

会報委員：青木 健・平川 貴浩・岡本 貞雄・秋廣 道郎

第 2342 回例会報告

秋の市民祭に参加

日 時：平成 29 年 11 月 5 日（日）

会 場：市民祭会場（大学通り・緑地帯）

司 会：S A A

岡本（正）委員長

開会点鐘：

小澤（谷）会長

お客様の紹介

小澤（谷）会長

濱仲 幸弘様 東京国分寺 R C

会長報告

小澤（谷）会長

ありません。

幹事報告

寺澤幹事

ありません。

出席報告

佐伯出席奨励委員長

11 月 5 日 在籍 49 名中 出席 38 名

前々回（10 月 25 日）出席率 90.70%

挨拶 本間奉仕プロジェクト担当理事

関（俊）社会奉仕委員長

閉会点鐘

小澤（谷）会長



▲ ミニバルーン

風船玩具はいろいろあって、その呼び名は統一していません。今回も社会奉仕の担当者が「ミニバルーン」と言うので、それを採用しました。

おそらくジャンボバルーンがあって、小型なのでミニバルーンと呼んでいるようですが、ネットで『ミニバルーン』を検索してもこの種の玩具は出てきません。ただ「バルーン玩具」を検索すると、その中に USA 製のこのバルーン玩具がありました。商品名は「トランポリン リトルタイクス ジャンプ アンドスライド バウンサー」です。とてもこんな商品名は使えませんか…。

ところで、このミニバルーンの所有者は北島正典会員です。クラブは北島会員からリースして奉仕活動に活用しています。効率的なクラブ運営を目指す中で、とてもよいアイデアだと思います。



▲ 夜来の雨も上がり、青空が広がった市民祭の朝。10 時からのパレードを前にしての記念撮影。

地区（国際ロータリー第 2750 地区）では、近年「公共イメージ」の重要性を認識し、毎年度の重点事業に「ロータリーの認知度の向上」を掲げています。

当クラブでも効果的な広報を目指し、ロータリークラブの存在をアピールしています。その最適な舞台が「市民祭」と「さくらフェスティバル」そして「塞の神どんと焼き」です。特に、天下市と重なる市民祭は「ロータリークラブここにあり！」をアピスする最高のステージです。

10 時スタートのパレード（写真は 1 ページ）には数年前より参加していますが、スタート順が早いのも、その存在の大きさが認められたものと思い、誇らしい気持ちになりました。



▲ 小澤（谷）会長の点鐘

午前 11 時、小澤（谷）会長の「只今より第 2342 回の例会を開会します」で移動例会が開会しました。



▲ 手際のよいミニバルーンの設定

昨年度から始めたミニバルーン。設置場所が会場（大学通り）の南端だったが、今年はクラブのテントに近い場所に設置。人通りも多いので、準備中から親子連れが寄ってきました。春に開催される「さくらフェスティバル」のジャンボバルーンと比べて、このミニバルーンは極端に設置時間が短い。あっという間にスタンバイができました。



▲ ポリオ撲滅キャンペーン

クラブのテントの正面は大学通りの歩道に面している。以前はここで「磯辺焼き」や「ジャガバタ」を販売して賑わった場所です。

クラブでは昨年度から、歩行者天国の車道で「ミニバルーン」をやっているのですが、こちら側は裏口のような感じで人は寄ってきません。それでもポリオ撲滅のパンフレットを置き、ポスターを貼って「ポリオ撲滅」を市民に訴えています。ポリオ発症国は2カ国になりました。あと一步で世界からポリオが絶滅します。それまで撲滅のキャンペーンは続きます。

▶ ミニバルーンの前には午後3時のクローズまで、絶えることなく子どもたちの長い列が続いた。

バルーンの入口にある「ポリオ撲滅募金箱」には、合計で24,662円も入っていました。(その大半は会員の募金) また、4時から後片付けには23名の会員が協力しました。



▲ 故障?! ミニバルーンの中で、子どもが遊んでいる最中、急にバルーンが萎んできました。「アレ〜」みんな心配顔に…。原因はバルーンにエアーを送っている発電機が止まってしまったのです。懸命にエンジンをかける千葉会員。心配そうに見守るスタッフ。その後、発電機は止まることはなく、3時まで動き続けました。



ボウリング大会



■ わが目を疑う

ボウリング大会は立川スターレーン1階の1レーン〜10レーンを使い、1レーン4名でプレーすることになった。私は2レーンで、小澤会長と村上ガバナー補佐のグループになった(岡本正伸会員はドタキャン)。

この日、小澤会長は1ゲーム目で172点を出すなどとても好調で、この時点で私は「小澤会長の優勝」を確信した。

ところが、他のレーンのスコア表をみてビックリ。

▶ が5つも6つも並んでいるレーンがあった。

誰だろうかと目をこらすと、なんと木島会員だった。

10月28日に開催されたスポーツ家族例会「ボウリング大会」の報告が移動例会の関係で2週間も遅れてしまいました。しかし、その間も木島会員の高得点での優勝の話題は色あせることなく聞こえてきます。

本号では、5年ぶりに開催されたボウリング大会の報告と、『木島会員奇跡の優勝』を特集しました。

会報委員・岡本

「わが目を疑う」とはこのこと。それでも目を凝らして見ると信じられない数字が目に入った。周りから「木島さんが優勝だ。それも209点も出した…」という声が聞こえてきた。

■ 5年ぶりのボウリング大会

当クラブ恒例のスポーツ家族例会で、ボウリング大会が開催されるのは5年ぶりのことである。今回出場した方々も大半は「5年ぶり…」のようだった。

ところが今回、そんな「5年ぶり組」の中から優勝者が出たのだから驚きである。「木島さんが優勝した」その噂はクラブ中を駆け巡り、参加しない会員たちの耳に

まで達していた。

どうやら『意外性』が話題のようだ。年齢と5年ぶりの条件では、良くて130点も出せばラッキーと言わざるを得なかったのだ。

木島会員は、2ゲーム目の209点が目立つが、1ゲーム目の148点も中々なもので、全体の6位の成績は、とても5年ぶりとは思えない。

■ どうして高得点が出たのか？

ボウリングは同じ動作を長い時間繰り返すので、メンタル面が結果に現れやすいスポーツだ。

木島会員の場合、本来の沉着冷静な性格に加え、全くの無欲でプレーができたことで、力が抜けてコントロールが定まったのではないだろうか。

また、レーンコンディションが良かったからかもしれない。ボウリングでいちばん重要なことは「レーンコンディションを読む」ことだ。

木島会員の場合、ボールの回転、スピード、コントロール、レーンコンディション、メンタル面と、その全ての条件が揃ったことが高得点の要因のようだ。

そして、何よりもストライクが続いたことだ。初心者はストライクを出すよりも、スペアをとる方が難しい。特に右投げの場合、10ピンを取るのは至難の技だ。木島会員はストライクを連発したことで、スペアを取る苦労が省けたことが幸いしたようだ。

■ ギネスブック

『83歳で209点』それも『5年ぶりのゲームで…』となると、そんなにある話ではない。

先づ、ギネスブックを検索しようと思ったが、その方法が分からない。そこで日本ボウリング場協会のホームページを開くと、なんと上には上があるもので『札幌市在住の山下さんが、85歳3カ月で自身初のパーフェクトゲームを達成し、国内の最高齢記録と認められた』とあった。

しかし、この山下さん。アマチュアながらボウリング



▲ 小澤（谷）会長の美しいフォーム 残念ながら2位入賞

歴は40年とのこと。5年ぶりの木島会員とは比べようもない。どなたか木島さんの偉業をギネスブックに登録してみたら如何。

■ 5年前のボウリング

ボウリング大会が5年ぶりで開催されたことはここで何度も触れた。



▲ 破顔一笑 優勝した木島会員

因みに5年前の2012－13（板倉）年度は、前年の関重寿年度に引き続いてボウリング大会を開催している。親睦委員長は遠藤（直）会員だった。

この時は2名1組のチームを作り、その対抗戦と個人戦を併用した。女性には1ゲーム20点のハンデが与えられ、優勝チームは関（重）・小澤（谷）組で合計点は591点であった。ハイスコアは男性は山崎会員の179点、女性は岡田会員の113点で、いま話題の木島会員は岡田会員と組んで7位（483点）に入賞している。

■ ボウリングは健康に良い

ボウリングは意外にも健康作りに非常に効果的なスポーツだといわれている。

ボウリングは手軽で、あまり激しい運動をしないイメージだが、実は結構な運動量がある。30分のボウリングはウォーキング80分の運動量に匹敵するといわれている。ボウリングは生活習慣病の予防にも効果的だといわれ、ボウリングのスイングは全身運動が代謝を高めてくれる。

運動が苦手という方、心臓が弱いという方でも負担が少なく安心して取り組めるスポーツなのだ。

■ スポーツ例会とボウリング

クラブの記録によると、直近のスポーツ例会では、ボウリング、ソフトボール、卓球、スポーツ吹き矢、バーベキュー、野球観戦など、親睦活動委員が知恵を絞っていろいろとイベントを実行してきた。

その内、もっとも多いのがボウリング大会で5回も開催している。ボウリングは天候の影響を受けないことと、今回の木島会員の優勝のように、技量の差が結果に出にくいという利点（まぐれ）がある。

長嶋親睦活動委員長は「ストライクを出して、大喜びでみんなとハイタッチしている光景を見て、企画を立てた者として本当に嬉しかった」と言っていたように、ボウリングは老若男女が参加して楽しめるスポーツだ。

また今回の大会は、飛び賞やラッキー賞、会長賞など、実に参加者の半数が何らかの賞をもらうことが出来た。お世話された親睦活動委員の方々に改めて感謝します。